

# 「専修大学学術機関リポジトリ」本稼働

## —ウチの文献ここにあり☑—

生田図書課 小泉 啓子

日本国内の学術文献の流通は、国立情報学研究所（NII）が運営する学術論文、学協会誌、研究紀要類のデータベース CiNii（国立情報学研究所論文情報ナビゲータ）によって大きく変化しました。2010年、提供される国内主要学術論文は約400万件と増大し、特に各大学の研究紀要類はCiNiiからダウンロードできる本文が30万件となり、文献の入手が格段に飛躍しました。

また、世界的な傾向として出版社の学術雑誌の市場の寡占化や価格高騰に対抗するために電子ジャーナルのオープンアクセスが提唱され、対応策として、2001年あたりから大学等の学術機関で生産された知的生産物を保存・公開することを目的とした、電子アーカイブシステムである「学術機関リポジトリ」が有用な手段として登場しました。世界で1,793機関、日本では143機関が学術機関リポジトリを構築しています（2011年4月現在）。2009年にNIIが日本国内の学術機関リポジトリに蓄積された学術情報を横断的に検索できる学術機関リポジトリポータル JAIRO を立ち上げ CiNii で総合検索ができるようになりました。

学術情報の流通が盛んになり、図書館としては、文献の入手が容易になることを喜ぶと同時に、利用者からは研究成果物の発信を望む声が強くなりました。

そこで、私たちは2008年7月にワーキンググループを立ち上げ、本学発行学術雑誌論文・記事の電子化と公開に向けての方法を調査・検討しました。

その結果、学内研究成果物を発信する「専修大学学術機関リポジトリ」を構築することがより発展的で効果的であるとの結論に至り、ついに本年4月に本稼働となったのです。

従来型の図書館は、大学の外に現れた資料を、学内の教育・研究からの需要に応じて選択、収集し、利用に供するとともに保存・蓄積をはかることが主要な役割でした。大学の中における教育研究活動が生み出した知的資産を蓄積、発信する「学術機関リポジトリ」を図書館が構築、維持することは、図書館の新しい電子化の時代にふさわしい役割だといえます。

学術機関リポジトリで論文を公開するために図書館では、論文の著作権（複製権と公衆送信権）の許諾をとり（学内に在籍しない方は、いろいろな手段で連絡をとり）検索できるようにデータや論文のPDFを作成し、CiNiiやGoogle等のハーベストに対応しています。論文の収集は、過去のもの、これから出るものを継続して収集するという終わりのない地道な仕事ですが、本学の研究者の成果物を発信することに携われる役割にうれしい忙しさを感じています。

生まれたばかりの「専修大学学術機関リポジトリ」です。この学術機関リポジトリが大きく育つためには、より多くの研究者の論文が集ることが重要ですので、今後とも学術機関リポジトリへのご支援、ご協力を末永くよろしくお願い申し上げます。

注目!

CiNii（国立情報学研究所論文情報ナビゲータ）で検索した結果に、本学の学術機関リポジトリがリンクしています。

CiNii 国立情報学研究所  
論文情報ナビゲータ[サイニイ]

論文検索 著者検索 (beta)

専修経済学論集

論文検索

詳細検索

すべて CiNiiに本文あり CiNiiに本文あり、または連携サービスへのリンクあり

検索結果: 701件中 1-20 を表示

関連著者

- 操作を選択... 実行  全件選択
- 1 2 3 4 5 6 ... 36 次へ
- 機関リポジトリ**
- マルクスと平等主義  
松井 暁  
専修経済学論集 45(2), 17-42, 2010-12-15  
機関リポジトリ
  - 通貨体制転換と為替レート  
中島 巖  
専修経済学論集 45(2), 1-16, 2010-12-15  
機関リポジトリ

この論文が、専修大学学術機関リポジトリに収録されていることが示されています。

- 中島 巖
- 松井 暁
- 三枝 義清
- 八林 秀一
- 加藤 幸三郎
- 吉家 清次
- 宮本 光晴
- 山田 節夫
- 川口 雅正
- 森 宏
- 水川 侑